

# 柴島浄水場 見学

## ONCC第9期生 ぶらっと散策2 第11回

日時：2022年1月20日（木）

天候：晴天

出発：9時40分

解散：12時30分

講師：大阪市水道局職員

受講生：35名

CA：3名



① 1914年に柴島浄水道（東淀川区）が誕生。

一人の人が一日に家庭で使う水の量は、平均242L使っている。

→バケツ約24杯分（10L入）

② 大阪市の水は淀川の水を利用している（宇治川 木津川 桂川）。

1400万人の人たちが使っている

③ 川の水から水道水ができるまでを、10何箇所の浄水所の仕組みを見学しました。

現在浄水道では、より安全でおいしい水を作るために、「高度浄水処理」という方法で水道水を作っています。

水源の水から蛇口の水まで、定期的に約200種類以上の厳しい水質検査を繰り返し、いつでも安全でおいしく安心して飲める水を届けてくれています。

災害時の飲水一人3Lを目安に3日分の水を供えておきましょう。

午後の班別活動は、大阪市北区の今昔館を予定していましたが、メンテナンスのため休館になりました。7名で昼食をしながら、今後の予定を話し合いました。

ブログ担当：1班



汚れている水が砂の中を通過して濾過されている見本